

「Creation for Smile」 多くの笑顔を生み出す“もの創り”

図面通りの製造請負ではなく 提案型の製品開発で差別化

株式会社サイベックコーポレーションは1973年の創業以来、金属プレス加工の可能性に挑戦し続けている。同社のコア技術は、厚板コイル材から冷間鍛造と板金成形を繰り返すことで高速に複雑な3次元形状の部品を生み出すことができる「冷間鍛造順送(CFP)工法」と呼ばれる革新的なプレス加工技術だ。この技術の開発により、従来のプレス加工では不可能とされていたような種類の金属製品の製造をプレス加工によって実現させた。

サイベックコーポレーションの経営方針は「Creation for Smile」。製造業でスマイルを方針に掲げる企業は珍しいが、ここには、創業社長の父親から2009年に経営を引き継いだ代表

取締役社長の平林巧造氏の思いが込められている。平林氏は、日本のものづくりの素晴らしさを世界へ発信していきたいと願い、従来の“もの造り”、すなわち顧客から提示された図面通りに製造するのではなく、同社の知恵とアイデアを提案し、顧客と共に製品をつくり出す姿勢を表わす“もの創り”という表現にこだわる。なぜなら、決められたことをそのままやり続けるのではなく、自ら考えて創造していくところにこそ製造業の原点となる楽しさがあり、自分たちが楽しんでこそ、人を感動させたり、喜ばせたりできると考えるからだ。そこで、製品面と精神面を共に豊かにする「Creation for Smile」を経営方針として掲げたのである。

その象徴的な例として、2000年にValue Technology (VT) 研究所を設立。この研究所から生まれた成果がC

FP工法の金属加工への応用だ。同社のコア技術であるCFP工法を応用し、従来のプレス加工では不可能とされてきたさまざまな金属製品をプレス加工により安価かつスピーディに作成するためのアイデアを顧客に提案したのだ。こうした「顧客と一緒に製品を創り出す」ビジネススタイルで他社との差別化を図り、顧客価値創造を追求している。

困難な要求に応えることが 同社の「最高のおもてなし」

同社では、経営方針を体現するために、「信(信頼)」「技(技術)」「対(対応)」の3つのキーワードを大切にしている。前述のような革新的技術が生み出される所以は、顧客の要求を親身に受け止め、「何とか助けてあげたい」という思いを持ってまず「対応」する姿勢にある。同社では「おもてなし経営」を学ぶ社内研修を不定期に実施しているが、行き着いた先は「困っている時にサポートをする人こそが本当に『信頼』できるパートナーであり、そこそが最高のおもてなし」という結論だ。実際、同社に依頼される案件のほとんどは、他社ではなす術がなく実現不可能と言われて持ち込まれたものだ。同社はそれを「技術」で解決する、いわば駆け込み寺のような存在だ。

また、普段のコミュニケーションでは分からない課題を見つけ顧客との信頼関係をより強固にするために、毎年1回、顧客満足度アンケートを実施す



会社参観日の様子。同社で誇りを持って働いている姿を家族や親族に知ってもらうことが社員の働きがいに繋がる。



サイベック祭りは、地域の人に会社をもっと身近に感じてもらおうと本社で開催するイベント。



2012年、地下スペースに新工場を建設。温度と湿度の変化が少ないため高品質の金型づくりが可能。その美しさには5S活動の成果が伺える。

るとともに、年2回の情報交換会を実施している。情報交換会では、新しい取り組みや将来の展望などを互いに共有する。“もの創り”の精神の下、できるだけ顧客と同じ立場に立つことで、本当に求められる製品開発の提案が可能になるのだ。

さらには社員のマナーを同社のブランド力を向上する要素の一つと考え、身だしなみや電話対応、名刺交換の仕方等を学ぶ「マナーブック」を作成し、研修を行っている。顧客と接するあらゆるシーンにおける社員のマナーが、顧客の信頼を確たるものにし、同社の高い技術力を支えている。

ハード・ソフト両面による、 一体感を得られる場づくり

「『スマイル』は体感した上で出てくる感情だと思うので、職場環境や触れ合いの場を大事にしています」と平

林氏。それは、ハードとソフトの両面で具現化されている。ハード面では、居心地の良い事務所、見晴らしの良い休憩室、社員食堂、体育館、研究室などが設けられ、社員は自由に活用できる。

一方、ソフト面では、本社を開放して行なわれるサイベック祭り、全社員で参加する地元の塩尻玄蕃まつり、社員の家族が会社見学をする家族参加日や5年に1度の社員旅行などがある。

塩尻玄蕃まつりの前には全社員で踊りを練習することで、部門を越えた会話が生まれ、一体感が育まれる。

「顧客の難しい要望に応えることができるのは、製造工程とその前後にいるさまざまな部門が、お互いに協力し合う風土によるところが大きいのです」と専務取締役の白井靖信氏は話す。家族参観日は、「子供たちに親の姿を見てもらい、働くことの楽しさ、さら

に当社で働きたいと思ってもらいたくて」と平林氏が始めた。兄と母親を呼んだというCS部マネージャー兼主任技師の白澤孝修氏は「『いい会社で働いているね』と言ってもらい、親孝行ができた」と話す。

また、2012年に部門を横断して女性社員のみで構成する「なでしこ5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)委員会」を設置。

女性が働きやすい会社、活躍できる会社を目指して、女性視点での業務改善も遂行してきた。この活動により、育児休暇制度の改定や時短勤務、長期離脱を余儀なくされた社員を皆でサポートする「有給シェアリング」という制度の導入を実現している。

同社の社員に話を聞くと、「社員は家族」という言葉が必ず出てくる。これは一体感を重視した多様な取り組みを行い、平林氏と白井氏が繰り返し理念を伝え続けた結果である。



工場見学会では社員は仕事の手を止めて、子供たちと向き合う。見学後は子供ならではの質問が飛び交い、たくさんの笑顔が生まれる。社員も充実感を持って仕事をしているからこそ、「Creation for Smile」を伝えることができる。

会社概要

- ・法人名：株式会社サイベックコーポレーション
- ・代表者：平林 巧造 代表取締役社長
- ・所在地：長野県塩尻市広丘郷原南原1000-15
- ・設立年月：1973年10月
- ・資本金：80,000,000円
- ・ホームページ：http://www.syvec.co.jp/
- ・社員数：正規74名、パート・アルバイトなど23名
- ・事業内容：超精密部品の金型開発・設計・製作およびプレス加工